

かすが 議会だより

議会だよりは市民とともに

2019年
5月15日

No.195

平成31年
3月定例会



もくじ

- 2 3月定例会での議案審議
- 5 全ての議案の議決結果
- 6 新年度予算きまる
- 9 9人の議員が一般質問
- 12 定例会の視点・論点
インターンシップ事業vol.5
- 13 春日市議会4年間の取り組み
- 14 平成30年の議会評価をお知らせ

消費税増税に伴い 10月からプレミアム付商品券を販売



消費税率の10%への引き上げが、低所得者・子育て世帯(0～2歳児)の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的に実施する。1単位5千円の商品券を4千円の販売価格で1人当たり5単位を限度として購入できる。

歳入 国庫補助金 1億8,583万7千円増額

歳出 商品券発行業務委託料など 6,084万5千円増額
商品券事業助成金 1億2,500万円増額

問 商品券は金額が細かい方が使いやすいと思うが、1人当たり5千円の商品券にした理由は。
答 5千円という単位は国が決めているが、5千円を500円券10枚にするなど、使いやすい方法を検討したい。

対象者

- ①平成31年度住民税非課税者(H31.1.1基準日、住民税課税者と生計同一の配偶者・扶養親族、生活保護受給者などを除く。)
- ②3歳未満の子がいる世帯の世帯主

該当例

夫(課税)妻(非課税) 子(2歳)子(0歳)	夫(非課税)妻(非課税) 子(1歳)
①0単位 ②2単位 世帯計2人分 (最大10単位購入可)	①3単位 ②1単位 世帯計4人分 (最大20単位購入可)

問 国が100%補助するため対象者に漏れが出ないように周知を行う必要があると思うが。
答 市報やチラシなどの広報に力を入れるとともに、該当者と思われる方には個人通知を行う。そのため内容も詳しく知らせることができると考えている。

採決にあたる
討論

反対 吉居 恭子 議員
申請者にとって手続きが複雑である。

定例会での質疑のうち2～4ページで主な議案についてご紹介します

インターネットで録画配信しています **春日市議会** 検索

春日地区の公民館 現施設から若水会館に



春日地区の公民館である春日共同利用施設の用地を隣接する幼稚園の建て替えのために地権者に返還するため若水会館(春日1丁目111番地)を新たに公民館とする。



新たな春日地区公民館

問 若水会館の全部ではなく一部を借りる理由は。
答 公民館内の公的空間以外のスペースを除くなど、他地区の公民館との公平性を考慮した。

問 春日市35地区公民館の土地の所有形態は。
答 借地による形態が春日地区公民館を含め4箇所、内訳は、無償3、有償1箇所。それ以外の31箇所は市の財産である。

市民厚生
委員会

こども医療費の支給に関する条例の一部改正

こども医療費支給の所得制限を廃止



保護者の経済的負担を軽減するため、また福岡県内の市町村の状況を考慮して、こども医療費の支給の対象者について、これまで3歳以上の子どもがいる世帯に設けられていた所得制限を平成31年10月診療分から廃止する。

新たに追加認定となる対象者は1,200人、関連予算として医療費550万円を見込み、当初予算に計上する。

問 対象者への周知は。

答 申請が必要となるため新たに該当になる方にはすべて通知を行い、申請をしていただくことになる。



春日市のこども医療制度

一部自己負担金

	通院 対象：小学6年生まで	入院 対象：中学3年生まで
3歳未満	なし	なし
3歳～未就学児	800円/月(上限)	500円/日 (月7日限度)
小学生	1,200円/月(上限)	
中学生	対象外	

※同月内に同一医療機関で内科と歯科を受診した場合や、複数の診療科（旧総合病院での受診は除く）を受診した場合は、別々の取り扱いになる。

3月
定例会

議 案 審 議

2月25日～3月22日（26日間）

委員会付託議案：総務文教11件、市民厚生17件、地域建設9件、予算審査特別1件

総務文教
委員会

一般会計補正予算(第7号) ふるさと応援寄附金

ふるさと納税が好調
平成30年度分12億5千万円に

歳入

かすがふるさと応援寄附金
5千万円増額

歳出

返礼品送付などの委託料
3,063万7千円増額



問

返礼品の割合が、4割から3割になったにも関わらず、前年度より伸びている要因は。

答

ふるさと納税が浸透したこと、総務省の指導により他自治体が返礼品の割合を3割にしたこと、本市の返礼品は人気が高く、リピーターも多いことが要因と考えている。

問

返礼品を寄附額の3割以下の地場産品に限定するという地方税法改正の影響は。

答

寄附者が希望される本市の返礼品は、果物関係が半分程度ある。地場産品という観点から提供が難しくなると想定した場合、決算見込み額の半分程度の影響があると考えている。

筑紫地区のふるさと納税の寄附状況

団体名	平成29年度	
	件数	寄附金額
春日市	86,481	8億9,093万円
那珂川市	55,135	5億7,975万円
筑紫野市	4,804	1億7,398万円
太宰府市	3,184	4,085万円
大野城市	2,184	2,807万円

総務文教
委員会

市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

市職員の働き方改革で
時間外勤務を規制全員賛成
可決

職員の正規の勤務時間以外の時間における勤務に関し、国家公務員に準じ上限を設定するなど、所要の規定の整備を図る。

問

働き方改革の一環としての条例改正か。

答

これまで3カ月平均80時間、また1カ月100時間を超えた場合は、産業医面談を実施するという制度があったが、今回規則に明記し規制していくことがそれに該当することになる。

総務文教
委員会

一般会計補正予算(第7号) 市民活動振興費

補助金の有効活用により
団体の育成を全員賛成
可決

歳出

市民公益活動事業補助金 73万6千円減額

問

申請する団体が少ないが、育成を考えた補助基準の緩和や期間の延長は考えていないのか。

答

今年度の実績として相談件数は15件、そのうち交付決定が3団体。広報に力を入れており、ぶどうの庭との連携も図りながら、団体の育成を考えていきたい。また、交付団体に対しアンケート調査を実施しており、今後の取り組みに生かしていきたい。

市民厚生
委員会

人権擁護委員新たに2名を推薦

人権擁護委員

さいとう るみこ

齊藤 留美子氏(1期目)

しろうず かずゆき

白水 和幸氏(1期目)

任期は平成31年7月1日から3年間

全員賛成
同意

人権擁護委員

家庭内や隣近所とのトラブル、いじめや差別など、さまざまな人権問題や悩みごとの相談に応じる。全国には14,000人、本市では9人が法務大臣から委嘱され活動を行っている。

管内視察
地域建設
委員会

市内防犯カメラ増設中

民間活力を活用した春日市独自の防犯カメラの設置が進んでいる。NPO法人 元気種と(げんきだねと)と市が、本年9月に協定を結び、自動販売機の売り上げの一部を活用し、防犯カメラの設置と維持管理を行っている。平成30年に市内に12台の防犯カメラを設置した。委員会は管内視察を行い現地を確認した。





3月定例会 議案の議決結果

■全員賛成で議決した議案

人事案件 [同意]

- 人権擁護委員の候補者の推薦(2件) ⇒P4参照

条例の改正 [原案可決]

- 市職員の勤務時間、休暇等に関する条例 ⇒P4参照
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
- 国民健康保険税条例
- 地区公民館等設置条例 ⇒P2参照
- 災害弔慰金の支給等に関する条例
- 保育所設置条例
- こども医療費の支給に関する条例 ⇒P3参照

条例の廃止 [原案可決]

- 照明灯管理基金条例

平成30年度 補正予算 [原案可決]

- 一般会計(第7号) ⇒P3、4参照
- 一般会計(第8号)
- 国民健康保険事業特別会計(第4号)
- 後期高齢者医療事業特別会計(第4号)
- 介護保険事業特別会計(第4号)
- 下水道事業会計(第4号)

平成31年度当初予算 ⇒P8参照[原案可決]

- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療事業特別会計
- 介護保険事業特別会計
- 筑紫地区介護認定審査会事業特別会計
- 下水道事業会計

平成31年度 補正予算 [原案可決]

- 一般会計(第2号)

その他の案件 [承認]

- 市道路線の認定

報告案件(専決処分) [承認]

- 部活動における児童の負傷事故に伴う損害賠償の額の決定
- 生徒指導における児童の負傷事故に伴う損害賠償の額の決定

議員提出議案 [原案可決]

- 予算審査特別委員会の設置 ⇒関連記事P6~7
- 市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部改正
⇒「広報広聴委員会の新設」関連記事P13

報告事項(専決処分) [受理]

- 児童扶養手当等の返還金の請求に係る訴えの提起

陳情

- 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情書
[総務文教委員会に送付、意見書提出は見送り]
- 奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書
[地域建設委員会に送付、意見書提出は見送り]

■賛否が分かれた議案

平成31年第1回(3月) 定例会 件 名		議決 結果	賛 成	反 対	所属議員									
					公明党	みらい 春日	創政会	翔 春会	春陽会	会派に 所属 しない議員	吉 野 明 浩	北 田 恭 子	松 尾 徳 晴	岩 淵 和 博
条例	印鑑条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	行政財産使用料条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市立学校校舎校庭使用料条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市立学校校舎校庭使用料条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スポーツセンター条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	のぼり窯体験広場使用料条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	いきいきプラザ設置条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	都市公園条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	道路及び河川占用料条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	下水道条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自動車駐車場条例の一部改正	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	平成31年度一般会計予算⇒P6~7参照	原案可決	15	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度一般会計補正予算(第1号)⇒P2参照	原案可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※金堂清之議員(翔春会)は議長職のため、表決権はありません。

※白水勝己議員(春風会)は平成31年3月5日に逝去されました。

※近藤幸恵議員(会派大樹)は平成31年3月5日付けで議員を退職しました。

(○賛成 ●反対)

※◎は会派代表者

※網掛け 賛成・反対討論を行った議員

①豊かな市民生活24億96百万円

新規 街頭防犯カメラ
設置補助

地域の治安維持のために、要望のある自治会に対し、1地区1台を対象として、設置費の50%(上限額10万円)を補助し、設置を支援する。

事業費70万円

問 ランニングコストやデータの管理は自治会でを行うのか。

答 電気代は自治会が負担。データの管理は市が提示する案に沿って自治会が要綱をつくり管理してもらう。

継続 地区公民館
大規模改修

【対象施設】

- ・大和町共同利用施設(設計)
- ・宝町共同利用施設(設計)
- ・須玖北コミュニティ供用施設(工事)
- ・下白水北コミュニティ供用施設(工事)

事業費2億1,004万円



②安心な健康福祉314億71百万円

新規 産前・産後
サポート事業

産前・産後の妊産婦を支援者が訪問し、沐浴などの育児サポートを行うことにより、育児不安を軽減する。



事業費147万円

問 乳児家庭全戸訪問との違いは。また、訪問は無料でこのサポートが有料なのはなぜか。

答 乳児家庭全戸訪問は、相談を受けたり、助言や指導をするもので、育児のサポートはしない一方で、本事業は、実家が遠方など支援が受けられない方の負担軽減を目的として、実際に沐浴など育児の手伝いをする。また、全員を対象とするもの、必要がある人だけが利用するものという違いがある。

継続 障がいを持つ方を支援
施設介護等給付事業

障がいを持つ方などが日常生活または社会生活を営むことができるよう、施設にて介護を受ける費用に給付を行う。

事業費13億1,315万2千円

新規 公私連携型保育所
大和保育所施設整備

老朽化した現園舎の建て替えを行う運営法人に補助金を交付する。建て替えに当たっては、26年度に策定した子ども・子育て支援事業計画に基づき、待機児童の解消のため、現行130人から建て替え後195人へ定員増を図る。新園舎供用開始は平成32年度予定。



事業費2億9,611万7千円

新規 地域密着型
特別養護
老人ホーム等整備

高齢者が住み慣れた地域で最期まで安心して暮らし続けられる基盤整備のため、事業者の施設整備に要する費用などを補助する。事業期間は31年度～32年度。

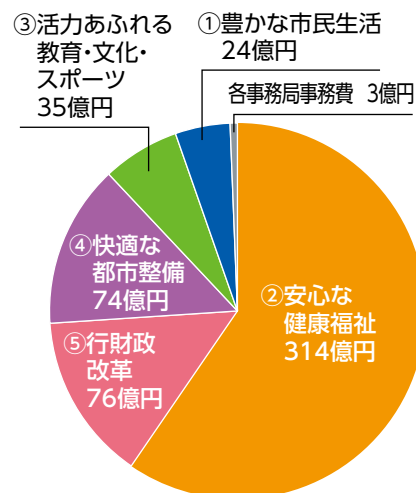
【整備施設】

- ・地域密着型特別養護老人ホーム(1箇所・29床)
- ・小規模多機能型居宅介護事業所(1箇所)
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所(1箇所)

事業費1億6,778万5千円

春日市の魅力を高める528億円

3月定例会では、議員全員による予算審査特別委員会(野口明美委員長)を設置し、平成31年度一般会計予算(333億円)について5日間にわたり審査を行いました。委員会の採決にあたって修正案が2件提出されましたが、賛成少数で否決となり、原案が賛成多数で可決しました。特別会計・事業会計は各所管委員会でも原案のとおり可決しました。定例会最終日の3月22日の本会議において、原案のとおり可決成立しました。



第5次総合計画「まちづくりの指針」ごとの事業費集計(全会計対象)の予算額になります。



③活力あふれる教育・文化・スポーツ35億19百万円

新規

学校図書館支援業務

学校図書館の「学習センター」「情報センター」「読書センター」としての機能をさらに高めるため、平成32年度から業務の一部を委託し、専門業者の経験と活力を生かした新たな学校図書館支援を進める。

【委託する主な業務】

- ・小中学校司書教諭と学校司書の研修会
- ・新たな学校間相互貸借の運用
- ・6中学校司書業務



債務負担行為／平成32年度～33年度 1,987万8千円

問

今の嘱託学校司書の勤務時間(週3日・各5時間)を長くするなどして対応できないのか。

答

専門業者の経験と活力を生かした新たな学校図書館支援をしていきたい。

継続

小中学校施設整備

老朽化が進む小中学校施設の大規模改修工事、増築を行い、児童生徒が安心して学習できる環境を整備する。

【実施校】・天神山小(体育館、給食室)

・春日北小・大谷小(普通教室)

・春日南中(普通教室・多目的室(設計))



事業費8億4,507万1千円

問

大規模改修の際はエレベーターを設置していくという考えはあるのか。

答

現在6小学校、4中学校に設置し、次年度1小学校に設置を予定している。基本的には大規模改修を行う際に設置することを検討しているが、必ずしも設置できるとは現時点では明言できない。

④快適な都市整備74億15百万円

継続

公園施設の維持補修



事業費1,580万4千円

問

遊具が古くなった際の対応は。

答

基本的には交換をしているが、自治会などと協議して地域のニーズに沿った形で改修などを行っている。

継続

西鉄春日原駅周辺整備事業

平成34年度末の完了を目指し、駅前広場と周辺道路を整備し、賑わいのある空間を形成するための基盤づくりを推進する。

事業費3億931万9千円

継続

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業

平成32年度末の高架切り替えに向けて、地元負担金を支出する。

事業費2億4,547万7千円

⑤行財政改革76億5百万円

継続拡充

市ウェブサイトリニューアル

スマートフォン対応で見やすくなり、利用者の利便性の向上と職員の更新作業の効率化を図るため、新たなウェブサイト構築システムを導入する。平成31年12月に運用開始予定。

事業費2,036万1千円

問

職員の更新作業の効率化が図られるとは。

答

広報担当経由でなく各所管で更新作業ができるようになり、即時性が高まる。



新規

枠配分予算編成の試行導入

市民満足度の最大化を図るため、予算編成の一部を各所管の主眼的・自律的な判断に委ねる手法に改める。

事業費0円・対象経費43億円

問

効率的・効果的に事業を行い、執行額が下がった場合の評価は。

答

次年度予算へ報奨的な金額を追加する、インセンティブという形で次年度に反映させる。

採決にあたっての討論

反対

西川 文代 議員

6中学校の図書司書業務の民間委託への予算化は、現図書司書と十分な意見交換、勤務時間数の見直しなどを行った後に検討すべきである。

反対

吉居 恭子 議員

利用児童増が続くにもかかわらずチャイルドクラブの第2クラブ舎を建設せず、学校施設借用での運営計画は、同じ春日市の小学生として不公平さは否めない。

賛成

竹下 尚志 議員

定員増を伴う保育所建て替えへの補助、計画的な小中学校の大規模改修、西鉄春日原駅周辺整備事業など、現下の課題に的確に対応した均衡の取れた内容である。

いくらかかるの？

特別会計・事業会計 221 億円

生活に密着する 医療・介護・下水道は？

付託された常任委員会において、各特別会計・事業会計の平成31年度当初予算に係る審査が慎重に行われ、すべて原案可決しました。

全員賛成
可決



市民厚生
委員会

国民健康保険事業 特別会計

当初予算額 96億5,115万円

ポイント

全被保険者数は減少傾向が続き保険税収入は減少。医療費などの保険給付費の総額は65億円と見込む。



問

後発医薬品普及促進支援業務（ジェネリック）について、さらに医療費の適正化に努めることは可能なのか。

答

差額通知の対象者を入れ替えて、できるだけ広く通知が出来るよう取り組んでいきたい。

市民厚生
委員会

介護保険事業 特別会計

当初予算額 69億8,263万円

ポイント

居宅介護サービスなどの費用が大きく増額となり、給付費総額は63億円と見込む。

問

先進地では給付適正効果を目的に活用され、本市では昨年度から始めた自立支援型地域ケア会議の活用は。

答

すぐに成果が出るものではないが、さまざまな事例を話し合うことでケアマネジャーの質の向上、事業所のスキル向上がよりよい介護につながると考える。理学療法士などの自立支援の視点からのアドバイスもありケアマネジャー、地域包括支援センター職員にも新たな視点が入っている。

市民厚生
委員会

筑紫地区介護認定 審査会事業特別会計

当初予算額 8,047万円

ポイント

筑紫地区の介護認定の平準化を図るため平成11年度から設置。春日市が平成31年度から2年間事務局となる。

市民厚生
委員会

後期高齢者医療事業 特別会計

当初予算額 14億3,271万円



ポイント

75歳以上の被保険者数の増加傾向が続き、前年度から300人増の1万1,394人となる見通し。

市民厚生
委員会

下水道事業会計

収益的収入 23億7,395万円

収益的支出 18億5,884万円

資本的収入 12億2,338万円

資本的支出 21億7,036万円

ポイント

主要事業

- ・塚原台交差点付近の冠水対策に6億1,700万円（小倉第3雨水貯留施設築造工事）
- ・ストックマネジメント計画により老朽化した汚水管の入れ替えなどに7,700万円（汚水管路改築工事）

一部事務組合への春日市負担金25.5億円 消防・ごみ処理・水道は？

例えばごみ処理施設はどの自治体も必要なので、春日市だけでなく周りの自治体と一緒に運営することで建物費用や運営費用を節約しています。

消防・救急	春日・大野城・那珂川消防組合	9.7億円
後期高齢者医療の事務	福岡県後期高齢者医療広域連合	9.3億円
可燃ごみの処理	福岡都市圏南部環境事業組合	3.5億円
し尿・不燃物の処理	春日大野城衛生施設組合	2.1億円
火葬場の運営	筑慈苑施設組合	0.5億円
上水道	水道企業団（福岡地区・春日那珂川）	0.4億円

3月定例会 一般質問

9人の議員が市政に対する質問を行いました

各議員が決める
質問内容は、議案とは関係なく議員個人が決めます。市政全般について市長の見解を求め、市政に対する提言を行います。

いつでもどこでも
QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、録画映像が見られます。



	質問項目	議員名	掲載ページ		質問項目	議員名	掲載ページ
豊かな市民生活	地方自治の本旨と協働のまちづくり	前田 俊雄議員	9	活力あふれる教育・文化・スポーツ	子どもの読書推進計画	吉居 恭子議員	9
	性犯罪防止に向けて本市の取り組み	内野 明浩議員	10		体育施設などの整備、活用	與國 洋議員	10
安心な健康福祉	子育て支援の強化	吉居 恭子議員			文化芸術振興とその活用	岩切 幹嘉議員	10
	少子化対策	高橋 裕子議員	10		学校教育支援	野口 明美議員	10
	発達障がい児への支援	川崎 英彦議員			障がい者への支援	川崎 英彦議員	11
行財政計画	マイナンバーカードを活用した取り組み	高橋 裕子議員		行財政計画	本市の地方創生の取り組み	西川 文代議員	10

※会議録(冊子)およびパソコンでの閲覧は市民図書館でもできます。
※原稿は、質問者本人の執筆によるものです。

子どもの 読書推進計画について

教育・文化・スポーツ



よし い きょうこ
吉居 恭子 議員



問

子ども時代の読書は、学力を育て精神発達や情操を育む上で重要である。中学校図書館を運営する学校司書を法的に想定されていない委託職員に変える計画があるが、市の教育の後退では。現場の指揮命令下で働けない委託職員が、他の教職員と連携できるのか。

答

学校図書館の機能を総合的に高めるためであり市の教育の後退とは考えていない。仕様書の中で業務の役割と責任を明確にし、チーム学校のスタッフと位置づけ進めていきたい。



本市における 「協働」とは

市民生活



まえ だ とし お
前田 俊雄 議員



問

「協働」という言葉は、使う人によって、意味、意義がさまざまであるため、協働のまちづくりを進めるにあたっては、本市における「協働とは」という部分を明文化し、市民及び市民団体と認識を共有すべきと考えるし、訴えたい。見解をお聞きたい。

答

本市が目指す協働のまちづくりについて、今後さらに共有を深めていくためにも、市民や市民団体の皆さまに分かりやすい形で明文化し、共有することが必要と考えている。



一般不妊治療（人工授精）への 助成の考えは



たかはし ゆうこ
高橋 裕子 議員



問

不妊症のご夫婦の経済的負担を軽減し、その支援のため保険診療の対象とならない人工授精への助成を開始しては。また、妊娠から子育て期まで使える電子母子健康手帳を導入する考えは。

答

特定不妊治療は県の助成に加え、市単独で補助金を交付。それは県内60市町村中16市町でその中でも手厚い助成をしている。一般不妊治療助成は研究課題とする。母子健康情報サービスアプリは国の動向を見守り、将来的な導入も視野に入れ研究を続ける。



母子手帳アプリ 母子モ

平舞台運動広場の今後の 活用に対する考えは

教育・文化・スポーツ



よくに よう
與國 洋 議員



問

この用地は昭和63年学校建設用地として取得されたが、学校建設のないまま30年余り暫定使用されており、いまだ活用の方向性が見えない。今後の活用、整備の考えは。

答

活用に関して一定の方向性を出す時期にきている。しばらく時間を頂きたい。

問

検討期間を区切る、あるいは全庁的な検討委員会を設立することが必要ではないか。

答

期間を区切った検討は難しい。固定した機関はないが、関係所管を加え検討を進める。



平舞台にある春日運動広場

今定例会の一般質問は9人です

「音楽の玉手箱」の 活用をもっと推進すべき

教育・文化・スポーツ



いわきり みきよし
岩切 幹嘉 議員



問

プロの一流の音楽家を学校へ地域へと派遣できる「音楽の玉手箱」事業がまだまだ市民に浸透していないと考える。事業の活用状況、その見解と今後の取り組みについて。

答

学校コンサートが2件、出前ミニコンサートが3件である。今後は積極的に発信していく必要があると考え、訪問による事業の案内、プロモーションコンサートの実施などを検討している。また地域の方が活用できるよう、実施要件の緩和、一部見直しも検討している。



地方創生成功に向けた 経営戦略に外部の声を

行財政計画



にしかわ ふみよ
西川 文代 議員



問

本市の地方創生の総合戦略策定に当たり多様な分野で活躍される構成員の方々からの貴重な意見をまとめた提言書では、子育て施策の強化が不可欠、これまでの行政の枠にとらわれない型破りな発想での政策が必要と述べられている。その提言を地方創生の取り組みにどのように生かしているのかお尋ねする。

答

本市の地方創生には欠かせないとても貴重なご意見として受け止めている。これらの提言を念頭に置き事業実施の検討をしている。



性犯罪防止に向けての
本市取り組みについて

市民生活

うちの あきひろ
内野 明浩 議員**問** 福岡県条例が可決され、性犯罪撲滅の施策は。**答** 主な施策は、①街頭防犯カメラ設置事業。②中高生への性犯罪および性暴力などの被害防止講習の開催。③市民への広報活動。地域の防犯活動を支援し、警察との連携を強化する。**問** 犯罪被害者支援の施策と条例化の考えは。**答** 県条例施行に向け筑紫西地区犯罪被害者支援協議会への参画。本市条例化については、地方公共団体に求められる施策や課題の整理など、慎重に検討を重ねていきたい。学校教育のさらなる国際化に
向けた取り組みを

教育・文化・スポーツ

のぐち あけみ
野口 明美 議員**問** 子どもたちが、外国生まれの人と触れ合う体験は、貴重な教育と考えるが、その見解は。**答** 教育委員会として、児童生徒が、外国の方々と直接触れ合う体験を積むことは、外国語に慣れ親しみ、外国語学習への動機付けの点から、大変重要であると十分認識している。**問** A L T (外国語指導助手) を地域行事や市民英会話教室などに活用してはどうか。**答** 夏季長期休暇中など活動が業務の範囲以内であると認められれば要請に応じた活用が可能。

全 12 項目の一覧は 9 ページへ

退任議員の紹介

4月30日の任期満了に伴い退任しました。

たけした しょうし
竹下 尚志 議員
4期・副議長まえだ としお
前田 俊雄 議員
6期・監査委員たけすえ てつじ
武末 哲治 議員
5期・総務文教委員長よくに よう
與國 洋 議員
3期・決算審査特別委員長授業のユニバーサルデザインの
推進は

教育・文化・スポーツ

かわさき ひでひこ
川崎 英彦 議員**問** 障がい者は障がい者にあるのではなく、障がいと感じている社会に存在する。また、障がいと感じている授業にも存在している。全ての障がいを解消する「授業のユニバーサルデザイン」の現状は。**答** 年度当初の各教科などの年間指導計画の作成、週案作成、そして実践。授業改善のため単元構成の仕方、1時間の学習課程、教材、指導形態、具体的な手だてなどの工夫を行い、校内研修や校外研修に取り組んでいる。

定例会の視点・論点

議会運営委員会が3月定例会での議論になった内容をお知らせします。

1 一般質問について

質問者は9名と少数であったが、市民生活に関わる12項目について、質問や提言がなされるなど活発なものであった。また、今回も傍聴者から執行部がその都度登壇答弁することに対し疑問の声が出た。現在答弁席に対する見解が異なり登壇答弁を継続しているが、引き続き調整が必要と思われる。



2 予算審査について

一般会計および特別会計予算などにおける各事業について幅広い視点・観点から多くの意見が出されるとともに、反対・賛成討論が交わされるなど活発な審議となった。特に、一般会計予算においては、新たに導入された枠配分方式による予算編成および学校図書館業務の委託、ならびに地区公民館へのエレベータ設置について多くの意見が交わされた。

春日子議会インターンシップ事業

今定例会では春日高校生6人が参加し、委員会での議案審査と本会議での一般質問や採決の様子を傍聴しました。

NEW 委員会での議案審査を学ぶ

参加者の感想の一部をご紹介します

フキダシの文字

インターンシップ事業をもっと周知してほしい。

土日に一般質問を傍聴できた方が良いですね。

議場で一般質問を学ぶ

体験して自分の考え方や見る世界が変わりました。

本会議で委員長報告、その後の採決を学ぶ **NEW**

パワーポイントなどを使うと内容が分かりやすくなると思います。

意見交換会では若い世代が市議会に関心を持つための提案や市議会への要望もいただきました

高校生の私の発言に対して丁寧に答えてくれ、絶対選挙に行こうと思いました。

小中学生の社会科見学に行ってみては。

市議会、議員に対する関心が増えましたか？

増えた100%

春日市議会 「議会改革」

vol.6

総集編

春日市議会の
4年間の取り組みを
お知らせします



4年間の取り組み実績 (H27.5~31.4)

開催回数 (回)		議案	
定例会	16	条例	150
臨時会	4	予算	110
常任委員会	331	決算	20
議会運営委員会	119	人事・契約の締結など	88
議会報、予算・決算特別委員	108	専決処分	32
一般質問項目数		意見書(議員提出)	15
教育・文化・スポーツ	89	意見書(委員会提出)	7
健康・福祉・子育て	76	条例改正	2
行財政・施政方針	66	規則改正	2
都市整備・防災・空き家	45	市長の専決処分の追加	1
市民生活・防犯・自治会	31	特別委員会設置など	9
他	11	採択	1
視察など (回)		不採択	2
委員会管外視察	73	聞き及び等の審議未了	10
現地調査・管内視察	36	不採択	2

取り組み

1

議会基本条例を 改正しました

改正内容

- ・議員研修の充実
- ・議会評価の見直し(毎年の議会活動を翌年3月に評価)⇒関連記事P14
- ・31年から広報広聴委員会の設置
- ・議会事務局の機能などの充実
- ・見直し手続きを明記
- ・災害時における市議会の活動

議会改革ページはコチラ⇒



取り組み

2

広報広聴を 充実しました

- ・本会議の録画映像をスマートフォンなどで見られるようにYouTubeで配信を開始(28.12)
- ・議会だよりをリニューアル(29.5)
- ・市議会Facebookページを開設(29.8)
- ・議案を定例会の初日にウェブサイトで公開(30.6)
- ・議会運営に生かすため、傍聴者からのアンケートを開始(28.6)
- ・議会評価のため、市議会に関するアンケートを開始(30.6) ⇒関連記事P14
- ・議会報告会を2会場開催し、意見交換会の内容を変更(30.10)

取り組み

3

政務活動費の収支報告書、 領収書の公開を始めました

政務活動費は、議会の審議能力を強化するため、議員または会派の調査研究などの活動に対して、その費用を助成するものです。(月額1人12,500円)

交付対象や交付額、充てることができる経費の範囲などは条例で定められおり、さらに使途基準を定め適正な執行に努めています。

平成30年度分は6月から
公開します

政務活動費ページはコチラ⇒



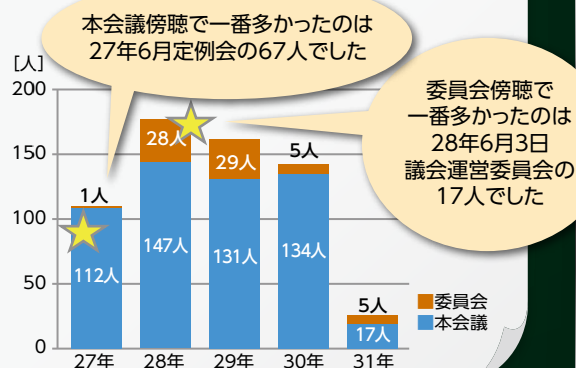
取り組み

4

傍聴しやすい 環境整備を行いました

- ・委員会傍聴規則を改正し、事前の申込みなく、委員会の傍聴が可能に(27.9)
- ・会議規則、傍聴規則を改正し、傍聴時の携帯品から杖を削除(28.12)
- ・傍聴の際の傍聴人名簿を個票投函方式に変更(29.6)

傍聴者数 (H27.5~31.4)



平成30年の 議会評価をお知らせします



春日市議会では、議会基本条例第5条に規定する市議会の評価をより充実させるため、評価実施要綱を改正し、原則として毎年3月に、その前年における議会活動を評価する方法に変更しました。平成31年3月に初めて行った評価を公表します。

春日市議会
基本条例コチラ→



春日市議会評価
実施要綱コチラ→



評価対象・方法など

評価対象

1月～12月における議会基本条例に基づく議会の活動

※平成30年4月1日施行のため、今回は4月から12月までとなります。

評価項目

- ①議会評価
- ②情報公開及び市民参加
- ③議会報告会
- ④議員の政策立案能力等の向上
- ⑤事務局体制の充実

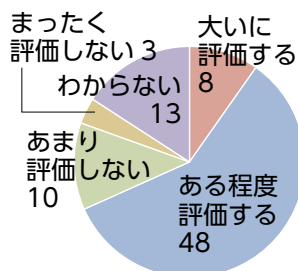
評価手順

1年間の議会の活動や市議会アンケート結果(⇒下欄参照)などを踏まえ、評価項目ごとに達成度、方向性、今後の取り組みを、議会運営委員会で協議し、決定します。

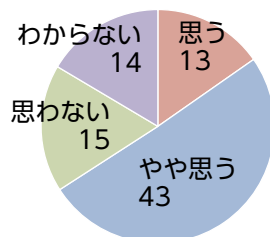
市議会アンケート結果(抜粋)

議会傍聴や議会報告会の際に87人の方からお答えいただきました。

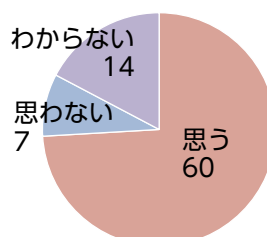
問 現在の市議会を評価しますか？



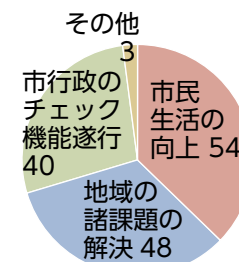
問 市民の声が市議会の活動に反映されていると思いますか。



問 市民が議会に参加し、意見や要望を発言する機会が必要だと思いますか。



問 市議会にどのような活動を期待しますか。(複数回答可)



自由意見より

- ・情報伝達や交流不足については議員、市民双方の責任と思うけれど、やはり発信については議会の議員が積極的に行ってほしい。特に若い世代へのアプローチを行ってほしい。
- ・傍聴者が増えるよう工夫、宣伝をしてほしいです。
- ・今後も傍聴の機会のみならず市民の声を反映させる議会を目指し、続けて頂きたい。

平成 30 年

議会評価表



次年度は
これらに
取り組んで
いきます

評価項目	進捗状況	評価		評価を受けての今後の取組
		達成度	方向性	
議会評価	議会評価の公表	○	継続	目標設定の必要性や公表のあり方などを今後検討し、議会改革の取組と成果を強力に発信する必要がある。また、第三者の外部評価制度の導入などについても考えていくべき。
情報公開 及び 市民参加 	会議の公開	○	拡充	本会議、各委員会の公開はすでに行っており、今後は傍聴者を増やす活動を行うとともに、閉会中の委員会開催の周知方法及び議会へ関心を持っていただく手法の充実などの取組を行う。
	議員の賛否の公開	○	継続	本会議における賛成及び反対理由の公開や常任委員会における議員の賛否の公開については、課題もありその必要性について今後、議論が必要である。
	会議録・委員会記録の公開	○	継続	会議録・委員会記録の公開は確実にしており、今後その公開について、市民への周知に努める。
	公聴会及び参考人制度の活用	×	改善	議会の持つ権利を十分に活用し調査と審査ができるよう、導入に向けての仕組みづくりが必要である。
議会 報告会 	報告会の充実	○	拡充	報告会の開催形式や回数について検討するとともに、市民との対話の充実や参加者を増やす取組を行う。
	報告内容の充実	○	拡充	報告内容については、市や各委員会が抱える課題やそれに対する取組、全体としての方向性を定めるなど、報告内容の充実を図る。
	意見交換の充実	△	拡充	グループ形式の導入は意義があり、ファシリテーター（コーディネーター）の活用やテーマの設定などにより意見交換会の充実を図る。
議員の 政策立案 能力等の 向上 	政務活動費の有効活用	○	拡充	議員の調査研究などを充実させるため、政務活動費の増額について議論していくべきであり、そのためには、調査研究や研修の報告だけでなく、一般質問に反映させるなどその成果を早い時期に公開できるようにする。
	議員研修の実施	△	改善	市の課題や二元代表制における議会の在り方などの研修を実施し、議会の実践のための課題等の検討や政策提言など議会活動に生かすことが必要である。
事務局 体制の 充実	議場・委員会室等の設備充実	○	継続	タブレットや電光掲示の導入など、ICT化により議会活動の充実を図る。
	事務局の機能強化	○	拡充	職員の増や能力向上のための研修に参加できる体制を整備するとともに、ICT化による事務負担の軽減などを図る必要がある。

※評価の達成度は○△×の3段階

○:概ね一定の水準にある △:一部水準に達していない ×:目的が達成できていないため取り組みが必要

※評価の方向性は継続・拡充・改善の3段階

継続:手法・内容等の更なる充実を図る 拡充:手法・内容等の見直し・拡充等を行う 改善:手法・内容等を大幅に見直し、目標を目指し取り組む

さかせて! あなたの未来 vol.7

市民の皆さんにお聞きします

表紙写真のご応募の方
にお話をお伺いします。
表紙応募方法は→



息子の将志くんと

春日北小学校でPTA役員をされている

前田 恭己さん (桜ヶ丘在住)

春日市議会のここに期待しています

硬いというイメージがあります。議会のお知らせもさまざまな媒体でされていますが傍聴に足が向かない。たまには休日や夜間など市民が参加しやすい時間に変えられてもいいのではないのでしょうか。

表紙写真応募のきっかけは?

春日北小ではJRCコミュニティ委員会があり、委員会活動として、全校集会の時に地域・学校行事が入ったカレンダーをもとに、地域行事に参加を呼び掛けたり、地域行事に参加した感想を発表しています。

春日北小地域の3自治会ではコミュニティ・スクールを「学校・家庭・地域・子どもたち」の4者と捉えていて、そのことを地域の清掃に励む子どもたちの写真を通して市民の皆さんへ知ってもらいたかったです。

春日市のここが好き!

私は桜ヶ丘に生まれ、育ち、現在に至っています。恩返しの気持ちで保護者として22年間、育成会も6年間やらせていただきました。

住みやすい、便利なところ、というのは常々感じるところですが、その他に子どもの育ちを地域の方々に関わってもらえるところ。育成会に兄弟姉妹児を連れて行っても、親子で参加しても受け入れてくれる。だから転入された方たちも地域デビューしやすいんだと思います。

訃報

去る3月5日、白水勝己議員が逝去されました。

白水議員は、議会運営委員会副委員長、春日那珂川水道企業団議会議員などを歴任されるなど、7年10か月の長きにわたり市政の発展にご尽力されました。

ここに故人の功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



カナダがやってくる

ラグビーワールドカップ2019™

カナダで国際的な評価が高いスポーツは、アイスホッケー、ラクロス、カーリングである。その内、アイスホッケーとラクロスは国技である。アイスホッケーのルールの原型は、1875年マギル大学の学生が、ラグビーを参考に考案したものであった。

スポーツの団体競技はチームの一体感が欠かせないから、民族的・文化的の差異を超越してしまう。その意味で移民国家の多い“新大陸”で



あるカナダにおいてもスポーツが重視され果たしてきた役割も多いと感じた。【現代カナダを知るための57章(明石書籍)より一部抜粋】

編集後記

「とにかく考えてみる」とである。工夫してみることである。そして、やってみることである。失敗すればやり直せばいい。」経営の神様と称された松下幸之助氏の言葉です。

本来の議会だよりの役割を再考し、手に取って読んでみたいと思える編集を心がけて参りましたが、市民の皆さまは如何お感じになられたでしょうか。協働のまちづくりが進むなかで、議会のことを知っていただくツールの一つとして「見やすい、分かりやすい」議会だよりになるよう、今後は広報広聴委員会が作っていきます。末永くよろしくお願ひ申し上げます。

(議会報編集特別委員一同)

議会報編集特別委員会

委員長	高橋裕子
副委員長	白水和博
委員	川崎英彦
委員	岩淵 穰